

平成30年度
第1回

岡山県医療勤務環境改善 支援センター 講習会

2018年11月15日(木) 15:00~16:40

岡山県医師会館4階【401会議室】岡山市北区駅元町19-2

対象:医療機関関係者

参加ご希望の方は11月9日(金)までにFAXでお申込ください。

15:00~15:55

「地域枠卒業医師配置の意義」

金田病院 理事長

金田 道弘 先生

医師不足地域の住民と医療機関の熱い期待を担い、岡山県の地域枠第1期卒業医師が2017年4月より初の地域勤務として、高梁・新見保健医療圏の高梁中央病院と真庭保健医療圏の当院に配置された。山本高史医師は岡山大学医学部医学科地域枠第1期生として入学・卒業後、基幹型臨床研修病院である岡山医療センターで2年間の初期臨床研修の後、当院に着任した。人格・能力共に素晴らしく、その活躍ぶりには目を見張るものがある。地域枠卒業医師配置の意義について、配置病院の立場から改めて検証してみたい。



「地域枠卒業医師第1期生を迎えて」

高梁中央病院 理事長

戸田 俊介 先生

2017年4月、私達が大きな期待を持って地域枠卒業医師を迎えてから1年6ヶ月が経ちました。第1期生ということで、迎える私達にも初めてでわからない点が多く、様々な方の助けを借りながら試行錯誤してきました。その過程や、地域枠卒業医師の赴任によって病院の雰囲気や常勤医師の負担などにどのような変化があったのか、中山間部に位置する慢性的な医師不足に悩む地域の病院で、外来診療、救急対応、病棟、当直、当番医、内視鏡など、幅広く大活躍中の地域枠卒業医師の当院での事例をご紹介します。



15:55~16:35

「働き方改革の方向性と課題」

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 地域医療人材育成講座 教授

片岡 仁美 先生

働き方改革関連法が本年6月に成立し、医師についても5年後を目途に適用される予定である。しかし、医師の働き方についてはその特殊性と他職種と比べて抜きん出た長時間労働の実態があることから、医療界の参加の下で検討の場を設け今年度末を目途に規制の具体的な在り方、労働時間の短縮策等について検討し、結論を得る予定である。現在検討会での議論の中心となっているのが応召義務、宿日直の扱い方、自己研鑽と労働の切り分けなどであるが、今後の方向性と課題について概説したい。



<参加申込書>

FAX: 086-251-6622

ご所属	ご芳名

お問い合わせ 岡山県医師会 TEL:086-250-5111

託児所使用を希望される方は、岡山県医師会HPより託児申込書をダウンロードの上、10月31日(水)までにお申込ください。